

2月13日：売り圧力に押され続落

先週以来の売り圧力が市場に引き続きくすぶり続け、今週は下落して始まった。

ホーチミン取引所では、VN指数は11.6ポイント安の1,043.7ポイント(-1.1%)で引け、同指数は2週間連続して下落している。

市場のセンチメントも弱気で下落銘柄数が上昇銘柄数を上回った。下落銘柄は285銘柄で、うち43銘柄は値幅制限いっぱいまで下落した。上昇は59銘柄だった。

ホーチミン市場の流動性は前営業日から約28%増加し、売買代金は10.5兆ドン(4億43百万ドル)となった。出来高は6億81百万株だった。

VN指数は、先週から大型株を中心に強い売り圧力に押されている。大型株30銘柄で構成されるVN30指数も昨日は低調だった。

VN30指数は8.34ポイント安の1,040.4ポイント(-0.8%)で引け、21銘柄が下落、8銘柄が上昇、1銘柄は変わらずだった。

下落基調をもたらしたのは優良株で、特に時価総額ベースではベトコムバンク(VCB)の影響が大きく1.06%下落した。

またビンホームズ(VHM)、VPバンク(VPB)、ベトナムラバーグループ(GVR)、ビンググループ(VIC)などの下落も目立った。これらは全て1.1%程度下落した。

上昇した銘柄では、BIDV銀行(BID)が3.38%上昇した。マサングループ(MSN)、サコムバンク(STB)、サイゴンビール(SAB)、ビンコム・リテール(VRE)なども上昇し、相場下落を和らげた。

ハノイ取引所のHNX指数も二日続落となった。同指数は4.01ポイント安の204.79ポイント(-1.92%)で引けた。

出来高は8,270万株、売買代金は1.1兆ドンだった。

外国人投資家はホーチミン市場で802億ドンの売り越したのに対し、ハノイ市場では161億ドンを買越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。